

# なるほど! ザ・ファンド

# Q & A

Vol.181

Q.

新しいNISAでは、「つみたて投資枠」の年間投資枠をすべて利用した後は、その年は積立投資を続けられないの？

A.

「つみたて投資枠」の年間投資枠をすべて利用した後も、「成長投資枠」の年間投資枠が残っていれば、積立投資を続けることができます。

新しいNISAでは、「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の併用が可能であり、「成長投資枠」の買付方法として積立・スポット\*どちらも可能であるため、「つみたて投資枠」の年間投資枠（最大120万円）をすべて利用した後も、「成長投資枠」の年間投資枠（最大240万円）が残っていれば、積立投資を続けることができます。

ただし、「つみたて投資枠」と「成長投資枠」では対象商品が異なるため、同じ商品で積立投資を継続できない場合があります。「成長投資枠」でしか投資できない商品を積立投資するのも良いかもしれません。（詳しくは裏面へ）

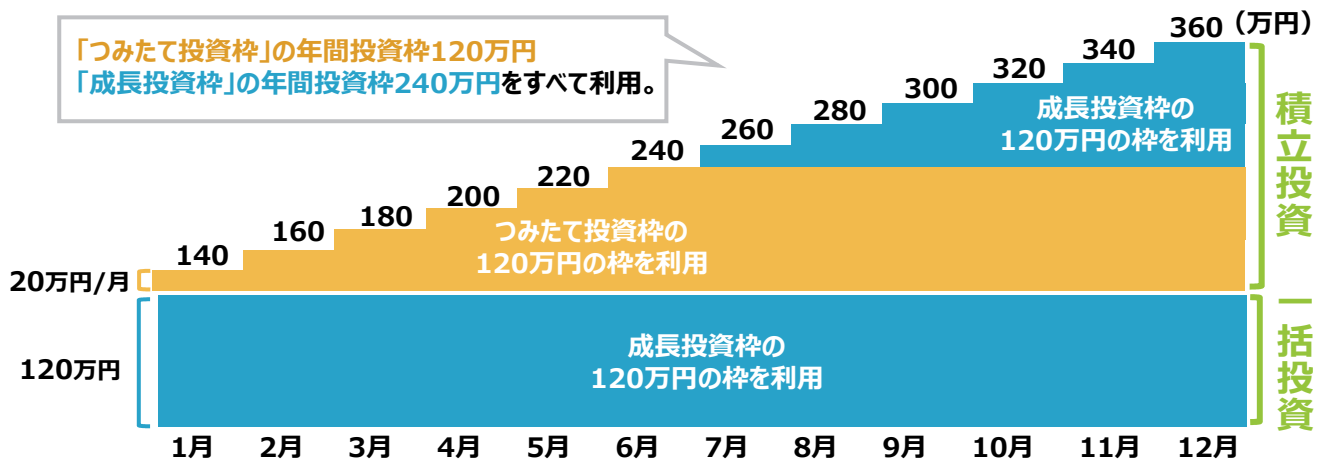
年間投資枠	つみたて投資枠	成長投資枠
合計 360万円	120万円 <b>併用可能</b>	240万円

\* 任意のタイミングで任意の金額を一括買付すること。

## 「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の併用イメージ

### <年初に120万円一括投資し、1年間で月20万円ずつ積立投資する場合の例>

- 年初に120万円一括投資し、毎月20万円ずつ（20万円×12ヵ月=240万円）積立投資する場合、年間360万円投資することになります。
- 「つみたて投資枠」の年間投資枠は120万円ですが、「成長投資枠」との合算で年間360万円まで投資可能であるため、積立投資の残りの120万円分は「成長投資枠」を利用することで、積立投資を継続することができます。
- 「つみたて投資枠」「成長投資枠」どちらも対象である商品の場合は、同一商品で積立投資が可能です。「つみたて投資枠」のみの対象商品である場合には、「成長投資枠」では異なる商品を積立投資することになります。



※上記はイメージです。

※新しいNISAは2024年1月から開始される予定です。制度の内容は今後変更される場合があります。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

＜ご参考＞「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の対象商品を比べてみよう！

つみたて投資枠

長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託

例えば…

- ◆ 毎月分配型でないこと
- ◆ 信託期間が無期限または20年以上であること
- ◆ ヘッジ目的の場合等を除き、デリバティブ取引\*による運用を行っていないこと
- ◆ 販売手数料がゼロ
- ◆ 信託報酬を一定水準以下に限定 …など

具体的な例

日経225やS&P500等のインデックスに連動するファンド、ETF（上場投資信託）等

成長投資枠

下記のような上場株式・投資信託等

- ◆ 整理・監理銘柄を除く上場株式
- ◆ 毎月分配型でない投資信託
- ◆ 信託期間20年以上の投資信託
- ◆ デリバティブ取引\*を用いた一定の投資信託でないこと

同じような条件！

具体的な例

日本株の個別銘柄、インデックスに連動するファンド、インデックスを上回るパフォーマンスを目指すアクティブファンド 等

ポイント！

- ▶ 同じような条件があり、**両枠とも長期資産運用に適したわかりやすい商品**が対象となっています！
- ▶ 「つみたて投資枠」は投資信託のみが対象であり、「成長投資枠」よりも条件が厳しいため、**「成長投資枠」の方が対象商品が多くなっています！**

\* 株式や投資信託などの金融商品のリスクを抑えたり、高リスクで高い収益性を追求する手法で、先物取引やオプション取引、スワップ取引等があります。

(出所) 金融庁のHPを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※新しいNISAは2024年1月から開始される予定です。制度の内容は今後変更される場合があります。

【重要な注意事項】

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■ この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただけます。■ リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■ リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■ くわしくは、三井住友銀行店頭各商品の説明書等を必ずご覧ください。